

令和元年度 横浜市市民プラザ指定管理者選定評価委員会 会議録

- 1 日 時 令和元年8月20日（火） 午後1時30分～3時30分
- 2 場 所 松村ビル別館501会議室
- 3 出席者 天野 克己 委員、伊藤 裕夫 委員、大野 幸子 委員、関谷 裕子 委員（50音順）
- 4 欠席者 無し
- 5 傍聴者 1名

6 議事内容

議題	(1)平成30年度業務評価関係資料の説明 (2)指定管理者へのヒアリング
委員意見等	<p>1 開会</p> <p>(1)委員長の選出について 委員の互選により伊藤委員を委員長に選出した。</p> <p>(2)定足数の確認について 委員数4名のうち4名の出席により定数を充足しており、会議の成立を確認した。</p> <p>(3)本委員会の公開・非公開について 横浜市の保有する情報の公開に関する条例第31条及び横浜市市民プラザ指定管理者選定評価委員会運営要綱第9条に基づき、公開とした。</p> <p>2 議題「平成30年度業務評価」</p> <p>(1)評価関係資料について</p> <p>ア 評価方法の確認 事務局から、評価方法について説明があった。</p> <p>イ 自己評価及び行政評価について 評価表に基づき、指定管理者から自己評価について、事務局から行政評価について、要点の説明があった。</p> <p>(2) 指定管理者へのヒアリング（以下「・」及び「→」は委員、「○」及び「⇒」は指定管理者、「➡」は市） 委員から指定管理者に対する質疑応答及び評価内容（評価する点、更なる取組を期待する点）の説明を行った。</p> <p>「I文化事業」について 《評価内容の説明》</p>

【評価する点（両館共通）】

- ・ 3館連携イベントは共同事業体の強みを活かした取組と評価する。

【評価する点（吉野町市民プラザ）】

- ・ 鑑賞型公演と体験型事業のバランスがよく実施され、地域に密着した実績を残しています。参加型事業においては目標値を大きく上回っている点を評価する。

【評価する点（岩間市民プラザ）】

- ・ 個性的な事業が地域の需要（地域特性やターゲット）にマッチしており、地域に定着している。鑑賞型・体験型事業のどちらにおいても目標値をほぼ達成している点を評価する。
- ・ 併設している社会福祉法人や国際交流ラウンジ、その他地元の施設やイベントなどとも連携しており、関係性が構築されている点について高く評価する。

【更なる取組を期待する点（両館共通）】

- ・ 地域との関係も強く、発表や参加の場として必要とされていることを認識したうえで、地域のさまざまな団体がつながっていく文化的コモンズとしての役割を一層強化してほしい。

【更なる取組を期待する点（吉野町市民プラザ）】

- ・ 一部の事業で目標が未達なので、開催日時や演目内容、地域特性とターゲットを検証したうえで、発信力の強化も含めた集客強化の取組が必要。
- ・ 地域の団体などと一緒に事業を企画し、展開していくような取組も必要。

【更なる取組を期待する点（岩間市民プラザ）】

- ・ 自主事業の講座参加者をサークル活動に導くなど、地域の文化活動の拡大につながる、施設利用率の向上にもつながると良い。
- ・ 「保土ヶ谷オープンヘリテイジコンサート」が雪のため中止になったが、魅力的なメニューなので開催時期の再検討が必要。

「Ⅱ 施設運営」について

《評価内容の説明》

【評価する点（両館共通）】

- ・ 3館連携会議など施設内外で情報共有を行って、サービス向上や連携事業に活かしている点が良い。

【評価する点（吉野町市民プラザ）】

- ・ ホールの利用率が97%と高い状況にあるなかで、バックステージツアーやU25割引制度など、施設の利用向上に努めていることを高く評価する。
- ・ 苦情や要望を全スタッフと共有し、さらに出演者や講師とも共有している点が良い。

- ・個人情報保護や接遇などの研修を目標の回数以上実施している点を評価する。

【評価する点（岩間市民プラザ）】

- ・個人情報保護チェックシートを利用した自己点検やDVDを利用した人権研修など、さまざまな職員育成を行っている点を評価する。
- ・利用率の低いギャラリーにおいてデモンストレーション展示を行い、具体的な使用イメージを住民に伝える取組は非常に効果があると考える。

【更なる取組を期待する点（吉野町市民プラザ）】

- ・ギャラリーと会議室の利用率向上のため、新たな用途の提案を行うなど企画営業を行ってはどうか。

【更なる取組を期待する点（岩間市民プラザ）】

- ・利用許可書の誤交付の背景を考察し、ミスを防止する手順やチェック体制の構築が必要。

「Ⅲ 施設管理」について

【評価する点（吉野町市民プラザ）】

- ・定期点検と日常清掃を十分に行って快適な空間が保たれている点について評価する。
- ・有事の際には災害ボランティアセンターとして地域に貢献する体制を整えている点を評価する。

【評価する点（岩間市民プラザ）】

- ・事故防止や防災訓練について、地域特性（高齢者への対応、防潮板の設置訓練など）を考えて行っている点を評価する。
- ・修繕を自前でを行うなど工夫している点を評価する。

【更なる取組を期待する点（両館共通）】

- ・施設の老朽化による故障や破損は利用者に影響が出やすいところなので、横浜市と情報共有及び協議を重ねてほしい。

「Ⅳ 収支」について

《評価内容の説明》

【評価する点（吉野町市民プラザ）】

- ・利用料金収入が予算を大きく上回り、電力契約の見直しなど経費の削減にも努めたことで、収支の改善が図られたことを評価する。

【評価する点（岩間市民プラザ）】

- ・自主事業収入が予算に対して約15%増と大幅に上回っている点を高く評価する。

【更なる取組を期待する点（両館共通）】

- ・協賛金については、共同事業体の強みを活かして確保に努めてほしい。
- ・指定管理者のノウハウを活かして、地元の商店や経済活動をしている団体等を巻き込んで協働事業を開発することも検討してほしい。

「V 総括」について

《質疑》

- ・2施設運営しているメリットとデメリットはどう感じているか。
⇒メリットとしては、1つの館でアイデアを考えるよりも、2つの館で考えたほうが良いというのはある。また、自主事業の日に急な欠員が出たときに応援を頼めるのは大きい。
デメリットとしては、リスク管理や情報共有は時間がかかるが、それを超えればよい運営につながっていく。

《評価内容の説明》

- ・2館連携や3館連携イベントの開催により人的資源やノウハウが活かされている点を評価する。
- ・吉野町市民プラザは、南公会堂が移転したこともあり地域での文化の発信拠点としての期待と役割が大きくなっていると思うので、さらなる新規企画やワークショップに期待したい。
- ・岩間市民プラザについては、既に地域との連携が十分見てとれるので、今後も継続して存在感のある施設となることを期待したい。

3 まとめ

本日の委員会で確認した内容を踏まえ、各委員は評価シートを改めて清書し、事務局で調整の上、委員会の最終評価内容としてまとめることとする。